

教科名	保健体育		学年	3	教科書 補助教材 等	最新高等保健体育（大修館書店）		
科目名	スポーツⅣ		単位数	2				
科目の 到達目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高めるとともに、運動をすることの楽しさや喜びを味わわせ、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通して継続的に運動ができる能力や体力を育てる。							
学期	月	指導内容	主な指導目標		予定時数	備考		
一 学 期	4	ダンス	○現代的なリズムのダンス リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりをつけて仲間と対応したりして踊ることが出来る ○創作ダンス・即興表現 表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、対極の動きや空間の使い方を変化を付けて即興的に表現したりイメージを強調した作品にまとめたりして踊るための動きが出来る ○創作活動 仲間との交流や話し合いを大切にしながら、本人・グループ・鑑賞する人それぞれが楽しめる作品作りをするために、さまざまな演出方法を身につけ、構成できるようにする		6			
	5				8			
	6				8			
	7				4			
二 学 期	9						8	
	10						8	
	11						8	
	12						4	
三 学 期	1						6	
	2						6	
	3						4	
年間授業 時間数計	70				1学期	26	2学期	28
学習上の留意点	実技教科である観点から、安全面を重視して授業を行っている。							
評価の観点					評価方法			
関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように自ら進んで計画的に運動しようとする。また個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。				関心意欲態度・思考判断・運動の技能・知識理解の四観点から評価を行う。			
思考・判断・表現	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して活動の仕方を考え、工夫している。							
技能	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけている。							
知識・理解	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。							

評価の観点は、各教科で異なります。
各教科、昨年度と同じ観点で作成してください。

実時数は必要ないとのことなので
単位数ごとに以下の時数でお願いします。

	1単位	2単位	3単位	4単位
4月	3	6	9	12
5月	4	8	12	16
6月	4	8	12	16
7月	2	4	6	8
9月	4	8	12	16
10月	4	8	12	16
11月	4	8	12	16
12月	2	4	6	8
1月	3	6	9	12
2月	3	6	9	12
3月	2	4	6	8
計	35	70	105	140

※3学年は各単位共通で2月:

単位数を入れると自動で計算されるようにしました。

5月8日 更新

2時間、3月0時間をお願いします。